

平成29年3月10日
徳島市提供資料

とくしま赤ちゃんの駅について

近年、子育て家庭の核家族化やコミュニティ意識の希薄化などを背景に、親族や地域から子育ての支援を受けられない、子育て家庭の孤立が社会問題となっています。

特に乳幼児を抱える子育て家庭においては、おむつ替えや授乳の心配などから外出を控えざるを得ないケースも多く、社会全体でこうした子育て家庭を支援する環境を整備していくことが求められています。

こうした中、徳島市では、乳幼児を抱える保護者が外出時に気軽におむつ替えや授乳などができる環境を整備するとともに、社会全体で子育てを支援する意識の醸成を図ることを目的とした「赤ちゃんの駅登録推進事業」を実施しています。

1 赤ちゃんの駅とは

赤ちゃんの駅は、乳幼児連れの子育て家庭が、外出時におむつ替えや授乳などのお世話を気兼ねなく行えるよう、公共施設や民間店舗などのうち、おむつ替えスペースや授乳スペースなどなどの設備を設置している施設を徳島市が認定するものです。

赤ちゃんの駅として認定した施設には入口などに登録ステッカーを掲示するとともに、イベント時などに設置可能なのぼり旗の貸出を行います。

【登録ステッカー】



【のぼり旗】



2 登録施設数（平成 29 年 1 月 26 日現在）

平成 29 年 1 月 26 日時点で民間施設 46 施設、公共施設 27 施設の計 73 施設が登録されています。

公私区分	施設数
民間施設	46施設
公共施設	27施設
合計	73施設

3 とくしま赤ちゃんの駅特設サイト

登録した施設の情報が手軽に検索できるよう、「とくしま赤ちゃんの駅特設サイト（<https://tokushima.mypl.net/baby-station>）」を開設しています。



4 地域少子化対策重点推進交付金

本事業は、内閣府の「地域少子化対策重点推進交付金（補助率 10/10）」を財源として実施しているものであり、次の KPI 指標を掲げています。

- 【指標 1】 赤ちゃんの駅登録件数：0 件（H27）⇒50 件（H28）
- 【指標 2】 赤ちゃんの駅年間延べ利用者数：0 人（H27）⇒1,500 人（H28）
- 【指標 3】 息抜きや交流を目的として赤ちゃんと一緒に週 2 回以上外出する家庭の割合：80%以上（H28）
- 【指標 4】 出生数：2,200 人（H29）、2,200 人以上（H31）

5 参考資料「外出に関するアンケート調査結果（集計中）」

乳幼児がいる家庭の外出に関する現在の状況や不便に感じていることなどを把握し、今後の事業に反映させることを目的として、次のとおりアンケート調査を実施しました。

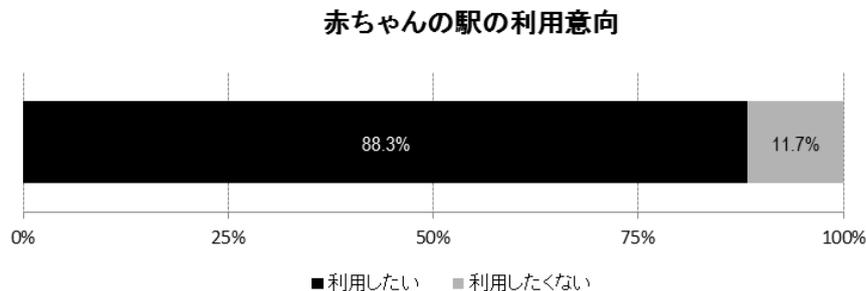
(1) アンケートの概要

- ① 調査期間 平成 29 年 2 月 1 日～2 月 14 日
- ② 調査対象 2 歳児以下の子どもを養育している徳島市内の保護者
- ③ 調査件数 2,500 件（無作為抽出）
- ④ 回答件数 1,399 件（回収率：55.9%）

(2) アンケート結果（抜粋）

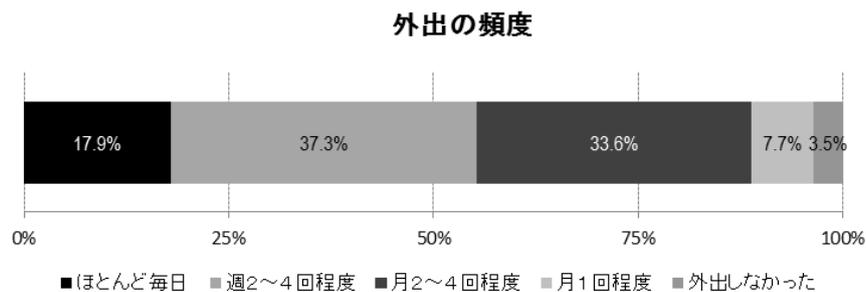
① 赤ちゃんの駅の利用意向

約 9 割の家庭が赤ちゃんの駅を「利用したい」と回答しており、本事業に対するニーズの高さが伺えます。



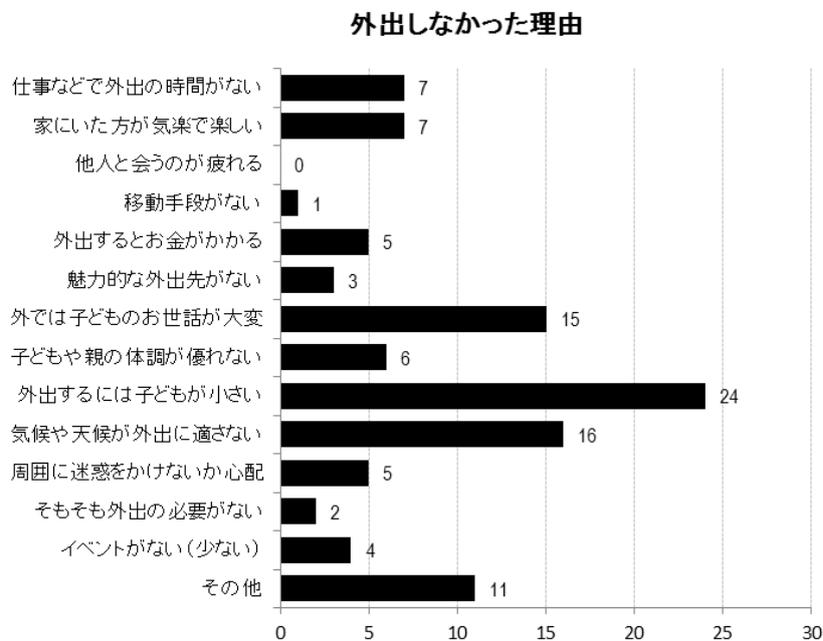
② 外出の頻度

週 2 回以上外出する家庭の割合は 55.2%に留まっており、KPI 指標に掲げた 80%に到達していないため、今後さらなる取組みが求められます。



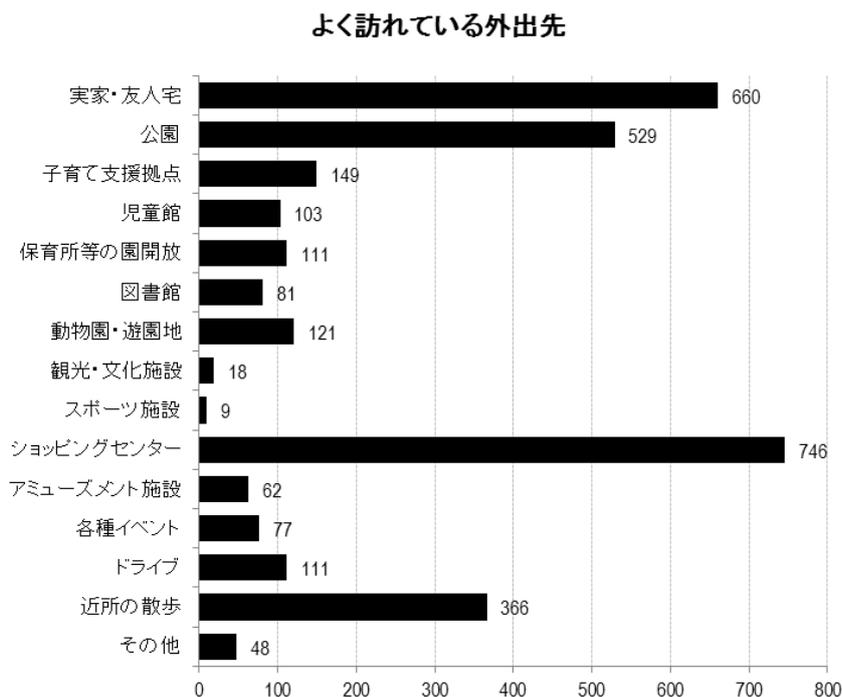
③ 外出しなかった理由

外出しなかった理由としては「外出するには子どもが小さい」が最も多く、小さい子ども連れでの外出が難しい状況が見て取れます。



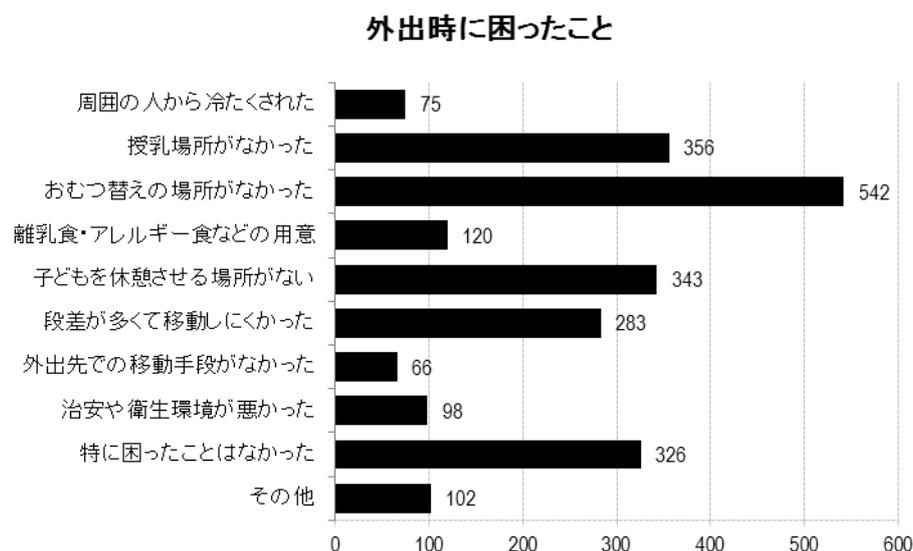
④ よく訪れている外出先

調査時期が冬場ということもあり、外出先としては、「ショッピングセンター」が最も多く選ばれています。



⑤ 外出時に困ったこと

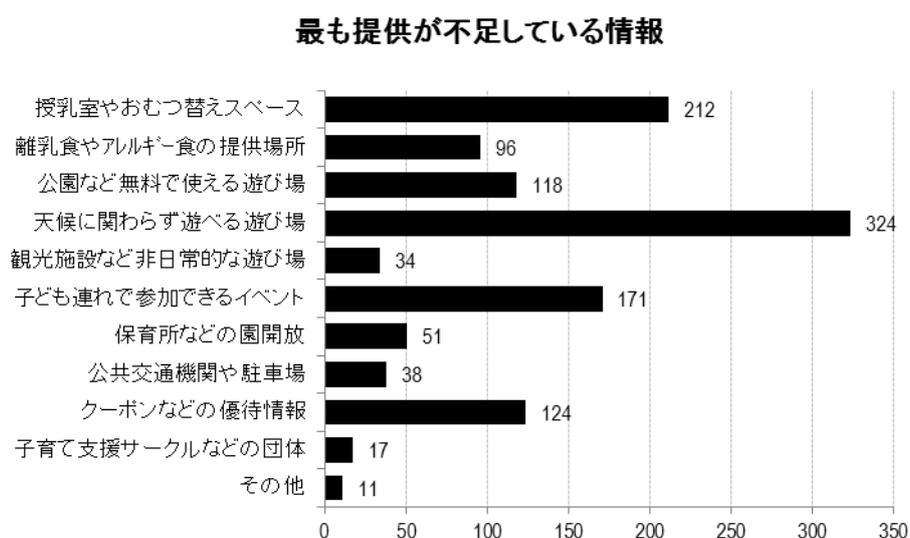
外出時に困ったこととしては、「おむつ替えの場所」がなかったが最も多く、外出先では子どものお世話が大変な状況が見て取れます。



⑥ 最も提供が不足している情報

外出に当たって最も提供が不足している情報としては「天候に関わらず遊べる遊び場」が最も多くなっています。

「授乳室やおむつ替えスペース」の情報は本事業で提供することとしましたが、今後は、子ども連れで訪れたい遊び場やイベントの情報を積極的に提供していく必要があると考えられます。



6 今後の推進方策

乳幼児連れでの外出環境をさらに充実していくため、徳島市においては、今後、次のような取組みを進めることとしています。

(1) 外出に必要なさらなる情報提供

アンケート調査結果からも、「天候に関わらず遊べる遊び場」や「公園など無料で使える遊び場」、また、「子ども連れで参加できるイベント」などの情報を提供していく必要性が考えられるため、官民で連携しながらこれらの情報提供を充実していく取組みを進めます。

(2) 移動式赤ちゃんの駅の貸出

今年度は、既に設備を有している実店舗などを赤ちゃんの駅として認定しましたが、イベント開催時などには会場付近に登録施設がないケースも想定されます。

そのため、仮設のテントやおむつ交換シートなどを市が購入し、民間事業者等に貸し出すことで、イベント開催時などに臨時的に授乳等の場を設置する「移動式赤ちゃんの駅」事業を開始します。

【イメージ図（出典：兵庫県猪名川町HP）】

